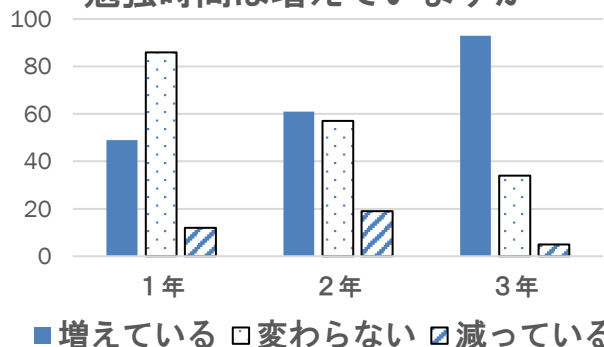


特集「自ら学べ」プロジェクトを考える 3

神中生は、勉強するようになったのですか？
これから、どうしていくのですか？

（君輪堂 須瑠 くん）

勉強時間は増えていますか



右上のグラフは、令和元年度の12月に行った生徒アンケートの結果です。この結果を踏まえ神町中学校で作成された報告文書を、夢色通信社では入手しました。その報告書によると、

- ・3年生(卒業生)の学習時間は増えている。受験生としての自覚が表れている。
- ・2年生(現3年生)は1学期より増えているとした生徒が多いが、家庭学習時間を確保しているとは言いがたい。ワークの提出状況は良いので、目的を持たせ自主的に取り組めるような働きかけを強化すべし。
- ・1年生(現2年生)はオーダーメイド・ホームワークへの取り組みが良い。継続している生徒が実力テストでも力を伸ばしていたという分析結果もでている。学年全体で、より意識を高めていく取り組みを求める。

とのことでした。現2・3年生については、まだまだ改善の余地があるということです。神中生の今後の頑張りを期待しているところです。また、昨年度末に行われた学校評価委員会では、

- ・「自ら学べ」プロジェクト、子ども達に対する有効なケアをしながら、継続することで成果を出してほしい。
- ・新しいことをやると必ず賛否両論が出てくる。子ども達のためにやっているということを忘れてはいけない。親がバックアップできるよう、学校からの情報提供を密にお願いしたい。学校と親の信頼関係が大事である。
- ・「自ら学べ」プロジェクトについては、神中の特色として定着させてほしい。そのためには、先生方が異動などで代わっても、継続できるようなシステムにしていけることが大切である。

などの意見が出されました。最後に、神中を昨年度卒業したある生徒の作文を紹介します。。

「自ら学べ」プロジェクトが始まって、私は、どんな方法でどんな学習をすれば自分のためになるのかなど、いつも以上に意識して課題などに取り組むようになりました。自分自身の学習スタイルをしっかりと決めていくことは難しいことですが、受験に向かううえでも、将来何かを学ぶときにも大切なことだと思います。わからないことがあっても、周りの人に協力してもらいながら明確にし、1つ1つ覚えていきたいです。そして、「わからない」をなくすことができるように、今後も自ら学ぶことを続けていきたいと思っています。(完)

